

Contents

- 2 日本語版
- 4 Bản tiếng Việt [ベトナム語版]
- 6 中文版 [中国語版]
- 8 Bersyon sa Pilipino [フィリピン語版]
- 10 Edisi Bahasa Indonesia [インドネシア語版]
- 12 ฉบับภาษาไทย [タイ語版]
- 14 ភាសាខ្មែរ [カンボジア語版]
- 16 မြန်မာဘာသာ မူ [ミャンマー語版]
- 18 Монгол хэл дээрх хувилбар [モンゴル語版]
- 20 English Version [英語版]

こくごのもり

小学低学年の児童を対象に国語の楽しさを知ってもらおうと、イラストを多用してつくった問題で「毎日小学生新聞」に長期連載。

©毎日小学生新聞 複製、転用はできません

「お」か「こ」につながる言葉を下からえらんで書きましょう。
全部書けたら声に出して読みましょう。

指導・元世田谷区立
小学校教諭
高橋 侖子
イラスト・奈良 恵

「お」の「り」

親切 きげん となり 楽しみ 苦労 乗車 いわい 仕事 元気 あいさつ 考え 知らせ ちそう 茶 はん

答えはP22にあります。

技能実習生の友

2020年7月 夏季号

夏の注意事項——熱中症や災害に備えよう

近年、日本では夏に気温35度以上の猛暑日が続いたり、台風、豪雨などによる自然災害が多発したりしています。そこで、日本の夏の注意事項をまとめました。技能実習生の皆さんの健康と安全のための参考にしてください。

熱中症 熱中症とは高温、多湿の環境の中で体内の水分と塩分のバランスが崩れることで起こる病気です。熱中症をよく知り、自分の体調の変化に気をつけるとともに、周りの仲間にも気を配り、予防しましょう。

<熱中症の症状> 気分が悪い、フラフラする、手足のしびれ、頭が痛い、ふるえがとまらない等 重い症状の場合は、返事がおかしい、意識がないなどの症状が現れます。

<熱中症予防対策>

● 出かけるとき

☑ 飲み物を水筒に入れて持ち歩くようにして、こまめに水分をとりましょう。

のどが渇く前に水を飲むことやたくさん汗をかいた時は塩分を取ることも大切です。

☑ 帽子をかぶったり、日傘をさすことで強い太陽の光をよけましょう。

● いつも気をつけること

☑ 家の中は、エアコンや扇風機を使い涼しくしましょう。

☑ 自分がいる環境では熱中症の危険性がどれくらいあるか、を常に気にするようにしましょう。

<自分や友だちが熱中症になったとき>

☑ 涼しい日陰か、冷房が効いている部屋などに移りましょう。

☑ 水分と塩分を取りましょう。

☑ 衣類をゆるめて、からだを冷やしてください。

➤ 友だちが自分の力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車（電話番号：119）を呼びましょう！



熱中症の危険度を表す「暑さ指数」をチェック！

<https://www.wbgt.env.go.jp/>
気象庁『熱中症予防情報サイト』



台風、豪雨水害 日本では、特に7月から10月にかけて、台風が多く接近したり上陸したりし、土砂災害など大きな被害を引き起こします。一方で、防災気象情報を利用して、被害を前もって防いだり、減らすことが可能ですので、一人ひとりがその危険性を知り、身を守る心がけが必要です。

<事前に確認しておくこと>

☑ 普段からテレビやラジオなどで天気情報を確認するようにしましょう。

☑ 市区町村が作成している「ハザードマップ」で危険な場所や避難場所をチェックしておきましょう。

☑ 避難場所までの道順を確認しておきましょう。

☑ 生活指導員や仕事の仲間などと災害が発生した時の連絡方法を確認しておきましょう。

<台風が近づいてきたら>

☑ 強風の場合は、なるべく外に出ないようにしましょう。

☑ 大雨が降り続けると川があふれたり、土砂災害の危険があります。

市区町村から避難準備の指示があったときは、いつでも避難を開始できるように準備をして

おきましょう。

☑ 水が増加した川や高波が起こった海は、非常に危険です。絶対に近づいてはいけません。

➤ 台風ときには、台風が通り過ぎた後も、強い風が吹いたり雨が降り続いたりすることもあります。警報や注意報がなくなるまでは、注意を続けましょう。

政府は、天気予報や洪水、土砂災害などの情報を発信しています。こまめにチェックし、夏の災害から身を守りましょう。

災害時情報提供アプリ「Safety tips」【11ヶ国語対応】

天気に関する警報情報や地震情報、熱中症情報などを確認することができます。

<https://disaportal.gsi.go.jp/>
国土交通省
『ハザードマップポータルサイト』



Android

iPhone

海水浴での事故 周りを海で囲まれた日本では、夏の時期は各地で続々と海開きが行われますが、ちょっとした気の緩みで楽しい海水浴が大きな事故につながってしまう危険があります。海水浴を安全に楽しむために以下のことに注意しましょう。

☑ 海に入る前には必ず準備運動を行いましょう。

☑ 危険で遊んではいけない場所を「遊泳禁止区域」と言います。近づいてはいけません。

☑ 体調が悪いときやお酒を飲んだときは泳ぐのをやめましょう。

☑ 天気が悪いときは無理をして海に出ないことが大切です。

技能実習生向け 新型コロナウイルス感染症に関する情報

新型コロナウイルス感染症に関して、技能実習生の皆さんにとって参考となるサイトをご案内します。政府機関などによる多言語化された資料ややさしい日本語で書かれた資料が掲載されています。

ご紹介したサイトについては発表情報やURLが更新される可能性がありますのでご承知おきください。

● 新型コロナウイルス感染症の予防などについて (外国人技能実習機構)

技能実習生向けの母国語での感染予防案内の他、母国語相談先の案内が掲載されています。

<https://www.otit.go.jp/notebook/>

● 新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～ (首相官邸)

三密・正しい手の洗い方・咳エチケットなどの英語や中国語のチラシも活用できます。

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

● 新型コロナウイルスについて (一般財団法人自治体国際化協会)

やさしい日本語や各国語で情報が掲載されています。手の洗い方も写真入りで見られます。

<http://www.clair.or.jp/tabunka/portal/info/contents/114517.php>

● 外国人生活支援ポータルサイト (法務省)

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00055.html

● AMDA国際医療情報センター

外国人へ医療機関の案内・電話医療通訳をしている団体で、新型コロナウイルスの多言語相談窓口としても対応中。

<https://www.amdamedicalcenter.com/>

● 会社に雇われている外国人の皆さんへ (厚生労働省)

新型コロナウイルスにより会社の経営が悪くなっているときでも、外国人であることを理由として、外国人の労働者を、日本人より不利に扱うことは許されないことの案内が各国語で掲載されています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/jigyounushi/page11_00001.html

マンガで知ろう 日本人の気持ち — おうちでチェック —



おうちで川の状況を見守る丸井さんでした

台風や大雨の時に外の様子を知るために家の外に出るのは大変危険です。現代社会だからこそその便利なツールも上手に活用して、危険な外出を避けて、情報を得ましょう。

◆ここここたえ



「お」も「ご」も言葉の上につけて、尊敬やていねいの意を表す働きをします。漢字は「お・ご」とも「御」です。「お」は、「おほん」おん「お」となりました。「源氏物語」は、「いつれの御時にか…」で始まります。「ご」は漢語につきますが、「元氣」に「ご」はつけません。自身でなく相手への心遣いが、やわらかい「お」をつけさせたのでしょう。

Trong tiếng Nhật, khi muốn thể hiện ý kính trọng hoặc lịch sự, người ta thường đặt chữ “お” hoặc chữ “ご” trước từ muốn nói. Trong tiếng Hán, cả từ “お” và “ご” đều được viết là “御”. Chữ “お” vốn là từ “おほん”, biến âm dần thành “おん” rồi thành “お”. Trong tiểu thuyết cổ “Chuyện Genji” được bắt đầu bằng câu “いつれの御時(おほんとき)にか…” (nghĩa là: Bắt đầu từ khi nào…) Từ “ご” thường được dùng với một danh từ chữ Hán, nhưng với từ “元氣” (nghĩa là: mạnh khỏe) thì người ta lại không dùng từ này. Có thể là do muốn thể hiện sự quan tâm tới người đối diện nên người Nhật dùng từ “お” để khi nghe cảm thấy nhẹ nhàng hơn chăng.

「お」和「ご」都是添加在日语词汇的前面，起表示尊敬和礼貌之意的作用。「お・ご」的汉字都是「御」。「お」是从「おほん→おん→お」变化而来的。最早出现在《源氏物语》中的「いつれの御時(おほんとき)にか…」。「ご」一般加在汉语词汇之前，但是「元氣」的前面不能加「ご」。与自身无关，表达对对方的关心时会委婉地加上「お」。

Ang 「お」 at 「ご」 din, kapag idinagdag sa umpisa ng salita ay nagpapakita ng respeto at paggalang. Sa kanji, ang 「お・ご」 ay 「御」 rin. Ang 「お」 ay magiging 「おほん→おん→お」. Sa Genji monogatari(源氏物語), laging naguumpisa sa 「いつれの御時にか…」 . Sa kango (漢語), pwedeng lagyan ng 「ご」 ngunit ang 「元氣」 ay hindi maaaring lagyan ng 「ご」 . Inaalala nila ang kaharap na tao kaysa sa sarili, kaya marahil nilagyan nila ng 「お」 upang maging malambot ang pananalita.

"O" dan "go" ditambahkan pada awal kata-kata untuk menunjukkan rasa hormat dan sopan. Huruf Kanji dari "o" maupun "go" adalah "御". "O" mengalami perubahan "ohon → on → o". Dalam Genji Monogatari (Hikayat Genji), kisahanya dimulai dengan "Izure no ohontokinika..." (Dalam suatu masa pemerintahan...). "Go" dipakai dalam kata yang berasal dari bahasa China, tetapi "go" tidak ditambahkan pada "genki" (sehat/bertenaga), melainkan "o" yang bernuansa lembut yang ditambahkan. Mungkin karena memberi perhatian kepada orang lain dan bukan kepada diri sendiri.

ทั้ง 「お」 และ 「ご」 ต่างเป็นคำที่ใส่ไว้ข้างหน้าคำอื่นเพื่อแสดงถึงความเคารพและสุภาพอ่อนน้อม 「お・ご」 ต่างเขียนด้วยตัวอักษรคันจิ 「御」 โดยคำว่า 「お」 เป็นการเปลี่ยนแปลงของเสียง 「おほん→おん→お」 “เรื่องเล่าของเก็นจิ” เริ่มต้นเรื่องด้วยประโยคที่ว่า 「いつれの御時にか... (ในรัชสมัยหนึ่ง...)」 คำว่า 「御時」 เป็นการแสดงความเคารพต่อพระจักรพรรดิ 「ご」 เป็นคำที่มาจากภาษาจีน เราจะไม่เอา 「ご」 ไปวางไว้หน้าคำว่า 「元氣」 แม้จะเป็นการแสดงความคำนึงใส่ใจที่มีต่อฝ่ายตรงข้ามก็ตาม การใช้ 「お」 จะให้ความรู้สึกที่อ่อนโยนกว่า

ทั้ง 「お」 และ 「ご」 ត្រូវបានបន្ថែមនៅមុខពាក្យដើម្បីបង្ហាញការគោរព និងសុភាពរាបសារ។ អក្សរកាន់ដើមរបស់ 「お」 ក៏ដូចជា 「ご」 គឺ 「御」 ។ 「お」 បានក្លាយមកពី 「おほん→おん→お」 ។ រឿងនិទានហ្គេនជឺ ចាប់ផ្តើមដោយ 「いつれの御時(おほんとき)にか…」 ។ នៅក្នុងភាសាចិនគេដាក់ 「ご」 ក៏ប៉ុន្តែ 「ご」 មិនត្រូវបានបន្ថែមទៅ 「元氣」 ទេ។ ដោយសារតែមិនមែនសំដៅចំពោះខ្លួនឯង ប៉ុន្តែគឺជាការគោរពភាគីម្ខាងទៀត បានជាគេបន្ថែមពាក្យ 「お」 ដើម្បីឲ្យទន់ភ្លន់។

「お」 ရာ 「ご」 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

“お”, “ご” -гийн аль аль нь үгийн эхэнд залгаснаар, тухайн үгийг хүндэтгэлтэй, эелдэг хэллэг болгох үүргийг гүйцэтгэдэг ба ханзаар бичихдээ аль алийг нь “御” гэж бичдэг. “お” нь, “おほん→おん→お” гэж өөрчлөгдөж ирсэн. “源氏物語/Гэнжигийн үлгэр” эхлэхдээ “いつれの御時(おほんとき)にか...” гэж эхэлдэг. “ご” -г Хятад хэлнээс гаралтай үгийн эхэнд залгадаг. Харин “元氣” -д “ご” залгадаггүй. Өөрийнхөө бус нөгөө хүнийхээ сэтгэлийг бодсоноос, зөөлөн сонсогддогээр нь “お” -г хэрэглэдэг болсон байж болох юм.

“お” and “ご” are prefixes that add a feeling of respect or politeness to words. In kanji, both are written as “御.” “お” was originally pronounced “おほん,” which was later simplified to “おん” and eventually “お.” The famous Tale of Genji, or Genji Monogatari, begins with the phrase, “いつれの御時 (おほんとき)にか.” “ご” is usually prefixed to words of Chinese origin. However, it is not prefixed to the word “元氣.” The thoughtfulness of putting people before oneself perhaps led to using the softer “お” prefix in this case.

技能実習生・研修生向母国語情報誌 発行 公益財団法人 国際人材協力機構 (JITCO)
技能実習生の友 総務部広報室
 2020年7月 夏季号 〒108-0023
 2020年7月1日発行 東京都港区芝浦2-11-5
 五十嵐ビルディング
 電話 03-4306-1166 (ダイヤルイン)
 JITCO ホームページ https://www.jitco.or.jp/